

令和2年12月11日

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館  
東京都渋谷公園通りギャラリー

交流プログラム

## インナー・ランドスケープス、トーキョー

東京都渋谷公園通りギャラリーでは、交流プログラムの一環である展示「インナー・ランドスケープス、トーキョー」を開催いたします。インナー・ランドスケープスとは、「inner（内面の）」と「landscape（風景）」の造語で、フィンランド在住の写真家マルヤ・ピリラと、日本をベースに活躍する陶芸作家の崔聡子と蔵原智子のユニット Satoko Sai + Tomoko Kurahara によるプロジェクトです。

作家が、ある地域に暮らす高齢者たちにインタビューをおこない、彼らの生きてきた時間（歴史）の断片を集め、その人の内面やその地域に流れる時間を投影した作品は、現実にある個人の生活を映す単なる記憶の記録にとどまらず、国や文化、世代を超えて誰しものが共感し共有できる普遍的な物語を浮かび上がらせます。

### プログラム概要

展 示 名：「インナー・ランドスケープス、トーキョー」

会 期：2021年2月13日（土）～3月14日（日）

開館時間：11:00 - 19:00

休 館 日：月曜日

会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

入 場 料：無 料

出展作家：Satoko Sai + Tomoko Kurahara（陶芸作家ユニット）、  
マルヤ・ピリラ（写真家）

主 催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館  
東京都渋谷公園通りギャラリー

Satoko Sai + Tomoko Kurahara  
&  
Marja Piriälä  
マルヤ・ピリラ

inner landscapes, tokyo

sisäiset maisemat, tokiio

インナー・ランドスケープス、トーキョー

2021.2.13(土) — 3.14(日)  
東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース  
開館時間 11:00 - 19:00 休 館 日 月 曜 日 入 場 料 無 料  
主催 (公財) 東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都渋谷公園通りギャラリー

※ 開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## ■作家プロフィール



photo: TAKAHASHI Ikuko

Satoko Sai + Tomoko Kurahara (サトコサイ+トモクラハラ)

／陶芸作家ユニット

2002年、共に多摩美術大学美術学部工芸学科陶専攻卒業。崔の韓国留学、蔵原のフィンランド留学を経て、2006年より東京のアトリエに拠点を置く。陶器を媒体に、風景・場所・記憶などをキーワードに、版画や写真などの要素を取り入れた表現を探求している。



photo: Iris Nuutinen

マルヤ・ピリラ／写真家

1986年、ヘルシンキ芸術デザイン大学写真学科及びヘルシンキ大学動物生態学修士課程卒業。1990年代からカメラ・オブスキュラの技術を追求。外と内の世界が融合した夢のような作風で知られる。受賞歴に「フィンランド国家写真芸術賞」（2000年）。

## 関連イベント

### ■アーティスト・トーク

日時：2021年2月27日（土）15:30 - 17:00

会場：オンライン配信

※東京都渋谷公園通りギャラリー YouTube チャンネルにて公開します。

<https://www.youtube.com/channel/Uck7KXCHA4ttC9-Jm7botLxQ?>

出演：Satoko Sai + Tomoko Kurahara、マルヤ・ピリラ

ゲスト：関 昭郎（東京都写真美術館 学芸員）

参加方法：申込不要

### ■オンライン対話型鑑賞 ―記憶の風景を紡ぎだす―

歴史の本には書かれない、様々な人々の個人的で日常的なエピソードが写真と陶器によって視覚化された展示「インナー・ランドスケープス、トーキョー」の作品をファシリテーターとともに、参加者の皆さんと対話をとおして鑑賞します。さらに作品によって呼び起こされた参加者自らの「記憶」を語り合い共有することで、オンライン上でしか体験できない「もう一つの物語」を紡ぎだします。

日時：2021年3月6日（土）午前の部 10:30 - 12:30 / 午後の部 14:30 - 16:30

会場：オンライン開催 ※Zoom 利用予定

講師：小川桂以子（企画・ファシリテーター）、田辺梨絵（ファシリテーター）

定員：各回10名

参加方法：参加費無料、要事前申込。

※都合により、登壇者等が変更になる場合があります。

申込等詳細は、当ギャラリーWebサイト (<http://inclusion-art.jp>) へ随時掲載いたします。

## 東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

Fax: 03-3464-5241 E-mail: inclusion@mot-art.jp

### 取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。  
また、本展覧会の広報用素材として2点の画像をご用意しております。希望されます場合は、画像番号をご記入の上、お申し込みください。

取材希望

画像使用希望

取材希望日時：

使用希望画像：

貴社名：

貴媒体名：

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他  
○印をお付けください

発行・放送予定日：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

ご住所： (〒 )

お電話番号：

F A X：

その他：

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記してください。
- ② 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ③ 本展を紹介いただく場合には、恐れ入りますが掲載誌(紙)、DVD、CD等をご提供ください。

広報用画像一覧（出展作とは異なる場合があります(順不同)）

①



Satoko Sai + Tomoko Kurahara : Hirotaka, 2020 photo: SUEMASA Mareo

②



Marja Pirilä : Camera obscura/ Hirotaka, Tokyo, 2018/2020

**お問合せ／お申込み**

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

((公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 )

Tel: 03-5422-3151

Fax: 03-3464-5241

E-mail: inclusion@mot-art.jp

URL: <https://inclusion-art.jp>